

復 命 書

令和8年1月22日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	前原 和幸
研修会名等	肝付町議会 県庁研修
期 間	令和8年1月21日（水）
内 容	道路維持課 課長 塩屋 勝久 氏 ・令和7年6月23日付け「国道448号線の適切な維持管理と草払いの強化を求める意見書」及び「県道の適切な維持管理と草払いの強化を求める意見書」への対応について ①県管理道路の維持管理に関する現状 ②草刈り・伐採の概要について ③効率的な維持管理について ④橋梁・トンネル・道路付属物等の現状 ⑤道路舗装の現状 ⑥国道448号・岸良高山線における草刈り実施状況 ⑦肝付町管内における道路維持補修（路面補修、高枝伐採、排水工等）実施状況 以上の内容で資料等を用いて説明の後、意見交換を行った。
所 感	鹿児島県は、九州で最も長い約4,420kmの管理道路を有し、年間約6,000件にも上る要望相談件数があるとの事であった。県管理道路の草刈り・伐採については主に民間へ管理委託を行い、一部市町村へも権限移譲を行い、地域住民等に協力を得ながらボランティア活動への支援を行うなど、厳しい財政状況の中、効率的な維持管理手法を検討していることに理解を求めていた。今後も、必要な予算の確保に努めるとともに、除草作業のコスト縮減、防草対策の推進、街路樹・植栽帯の見直し、義務的経費（電気料金等）のコスト縮減なども行っていくとの事であった。そのことを実現するために様々な取り組みも行われていた。県と町が連携をして、安全なインフラ整備に努めなければならないと感じた。
内 容	商工労働水産部産業立地推進課新産業創出室 室長 栗野 寛教 氏 ・射場に関する取り組みについて ・宇宙ビジネス創出に関する取り組みの状況について ・宇宙に関する取り組みの今後のロードマップや予算について 以上の内容で資料等を用いて説明の後、意見交換を行った。
所 感	宇宙基本計画によると、宇宙機器と宇宙ソリューションの市場規模は、2020年の4兆円から2030年代早期に8兆円への拡大と、2030年代前半までに官民による打ち上げ能力年間30基を目指すとされている。また、宇宙戦力基金が設置され民間・企業・大学等の技術開発の支援や、現政権も「強い経済を実現する総合経済対策」戦力17分野のひとつに、宇宙分野を位置づけし、経済安保推進法に基づく特定重要物資に人工衛星・ロケット部品を追加し、サプライチェーンを強化する方針が打ち出されるなど、将来的に注目され、期待されていることは間違いないと感じた。鹿児島県は国内射場5か所のうち2か所があり、宇宙開発の中心にあることは紛れもない事実であると考え。しかし、近年H3ロケットの打ち上げ失敗やイプシロンSロケットの燃焼実験失敗など厳しい状況にあることも事実であろう。宇宙ビジネスは、非常に高い技術力を求められる割になかなか儲からないとも言われてきた。このことは、参入企業が増えない要因ともいえると考え。しかし、その高い技術力は、決して無駄なものではなく他の産業においても必ずや成果を生むものと考え、今後もたゆまぬ努力がなされることを信じてやまない。宇宙ビジネスの創出という高いハードルを実現させるために町は県と歩調を合わせ、ともに精進して行くべきと考え。
添付資料	

復 命 書

令和8年 1 月 23 日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	宮後 竜一
研修会名等	県庁研修会
期 間	令和8年 1 月 21 日(水)～令和 年 月 日()
内 容	① 道路維持課 議会が県にたし意見書への対応について ② 新産業創出課 射場に関する取組みの状況 宇宙ビジネス創出に取組みについて
所 感	道路維持課では、6年度相談件数が6,000件ほどおじつたが、おじつれた予算の中でしか対応できなかった。カーナビの補償に国処が立たないので安心した。 宇宙ビジネス、内浦射場の現状は、かなりよい。民間ウエブの誘地には、また秋年数がわかると、おじつめてきた。
添付資料	

復 命 書

令和 8 年 1 月 2 6 日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	吉原 光
研修会名等	鹿児島県庁行政視察
期 間	令和 8 年 1 月 21 日（水）
内 容	1. 令和 7 年 6 月 23 日付「国道 4 4 8 号線の適切な維持管理と草払いの強化を求める意見書」及び「県道の適切な維持管理と草払いの強化を求める意見書」の対応について 県道路維持課 課長 塩屋 勝久 氏 （1）県管理道路の維持管理に関する現状 （2）草刈り・伐採の概要 （3）効率的な維持管理 （4）橋梁・トンネル・道路付属物等の現状 （5）道路舗装の現状 （6）国道 4 4 8 号・岸良高山線における草刈り実施状況 （7）肝付町管内における道路維持補修実施状況 2. 鹿児島県における宇宙ビジネス創出に向けた取り組みについて 県商工労働水産部産業立地課 新産業創出室 室長 栗野 寛教 氏 （1）現状の説明とこれまでの取組
所 感	1. 鹿児島県の県管理道路の総延長は約 4,420km と九州各県で最も長く、令和 6 年度の苦情件数は 6,000 件で過去 5 年間横ばいの状況。苦情は死骸除去・落下物、草刈・伐採、舗装の 3 項目が全体の 6 割を占めており、特に草刈り・伐採に関しては、民間管理委託へのシフト（旧高山 1 社、旧内之浦 2 社）、市町村への権限移譲、地域住民によるボランティア（ふるさとの道サポーター制度）という 3 つの手法で効率化が図られている。また、限られた予算内で効率的な維持管理を推進するため、除草剤の使用、植樹の撤去、道路照明の LED 化、AI を活用した道路パトロールといった取り組みが実施されている。道路維持に割り当てられた予算が少ない中で今後どのように進めていくのか、課題を感じた。 2. 鹿児島県には種子島と内之浦の 2 つの射場があり、県は現在またはこれからどのように宇宙ビジネスを創出しようとしているのか、とても興味深く話が聞けることを期待したが、国内射場の状況や説明があっただけで、すべて一般的にわかりきった内容であった。今後の展望も、絵に描いた餅であり、現実を把握できていない印象を受けた。町にも言えることだが、JAXA 抜きでは出来ない現実を認識し、JAXA と距離を縮めて計画を進めるべきと考える。県にも今後の具体的な施策もない、挙句の果てには「宇宙ビジネスは儲からなから難しい」との発言には呆れた。そうであるとするならどうすれば良いのか、もっと真剣に県も考えるべきである。
添付資料	無し

復 命 書

令和 8 年 1 月 23 日

			

肝付町議会議長 殿

以下のとおり報告いたします。

氏 名	田中義家
研修会名等	肝付町議会 県庁研修会
期 間	令和 8 年 1 月 21 日
内 容	(1) 令和 7 年 6 月 23 日付「国道 4487 号線の適切な維持管理と草払いの強化を求める意見書」及び「県道の適切な維持管理と草払いの強化を求める意見書」への対応について 講師 道路維持課 塩屋勝久氏
所 感	道路の維持管理に関する現状・草刈り・伐採・効率的な維持管理・橋梁・トンネル・道路付属物等の現状・道路舗装の原状・国道 448 号岸良高山線における草刈りの実施状況・肝付管内における道路維持補修、説明を聞き、現状がわかりました、今後の勉強になりました。
内 容	・ 謝場に関する取り組みの状況について ・ 宇宙ビジネス創出に関する取り組みの状況について ・ 宇宙に関する取り組みの今後のロードマップや予算について 講師 新産業創出室 室長 塩屋 勝久 氏
所 感	国内謝場の現状・世界のロケット打ち上げ回数・宇宙ビジネスを取り巻く環境・鹿児島県に立地する 2 つの射場・宇宙開発の在り方について・(研究開発)・(射場)・宇宙産業への支援による新産業創出・宇宙ビジネス・企業向けの人材育成 学生向け人材育成・ビジネスマッチング・ビジネスコーディネート事業・県宇宙ビジネス研究開発支援事業補助金 原状を初めて知り大変勉強になりました。

復 命 書

令和 8 年 2 月 5 日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	中原 稔
研修会名	鹿児島県庁行政視察
期 間	令和 8 年 1 月 21 日 (水)
内 容	1. 研修内容 道路維持課 課長 塩屋勝久 氏 他 1 名 「国道 448 号線の適切な維持管理と草払いの強化を求める意見書」及び「県道の適切な維持管理と草払いの強化を求める意見書」への対応について 2. 新産業創出室 室長 栗野寛教 氏 ・射場に関する取り組みの状況について ・宇宙ビジネス創出に関する取り組みの状況について ・宇宙に関する取り組みの今後のロードマップや予算について
所 感	1. ロケット打ち上げの低コスト化で日本の技術力は世界のレベルと同調出来るか、懸念を感じた。 2. 宇宙産業は儲からないが高い技術力が求められている。 高い技術力を持つ企業の誘致が必要と思った。
添付書類	

復 命 書

令和 8 年 / 月 27 日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	富 永 洋 一
研修会名等	林・島県庁行政視察 町村議会議員研修会
期 間	令和 8 年 1 月 20 日 (火)
内 容	(1) 道路維持 ① 国道 448 号線の適切な維持管理と草払いの強化を求める 意見者 林・県道 448 号線の適切な維持管理と草払いの強化を求める 意見者 林・対岸 (2) ① 射場に関する取り組み状況 ② 宇宙セゾネス創出に関する取り組み状況 ③ 宇宙に関する取り組みのロードマップ等
所 感	※ 道路維持について 年 1 回 6000 坪の要望 苦情が寄せられているが要望に 応じられず予算がたいて解決に向けて計画を立てられ 自然災害等に対応できず危険な状態 ※ 林が町の宇宙の町づくりについて 現在一番の課題は、 秘密性の高いロケット産業が くるのか、理由として、現在のロケットは 1/4、三菱の二社で造られている。日本も国産ロケットに ロケット産業は商業性が伴い、民間会社や社内、九州に 存在するのか、二社に比べては工業化があり、利益も存在する 宇宙の町づくりについて 見直しが必要
添付資料	

復 命 書

令和 8 年 / 月 26 日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	恒 吉 智 彦
研修会名等	鹿児島県庁行政視察
期 間	令和 8 年 1 月 21 日 (水)
内 容	1. 「国道 448 号線の適切な維持管理と草払いの強化を求める意見書」及び「県道の適切な維持管理と草払いの強化を求める意見書」への対応について 県道路維持課 課長 塩屋 勝久 氏 2. ・ロケット射場に関する取り組みの状況について ・宇宙ビジネス創出に関する取り組みの状況について ・宇宙に関する取り組みの今後のロードマップや予算について 県新産業創出室 室長 栗野 寛教 氏
所 感	1. については 県に対して、管理道路における苦情が年間約 6000 件寄せられているとのこと、とてと少ない、全てに対応は出来ていないように、中には特に予算増を必要とし、件数もあるが、殆どが予算の面で、限られていると思われる。しかし、今回の件については 1 歩も、2 歩も前進したと思う。やはり直接交渉は大変有効だ。 2. については「宇宙ビジネス」の厳しい現状を改めて実感した。JAXA が民間で打ち上げるロケットに射場を使わせる理由もはつきり分かった。2024 年に世界中で 25 台のロケットが打ち上げられるうち、米が 153 機、中国が 66 機、ロシアの 17 機に次いで日本は僅か 5 機である。種子島、内子浦以外の射場(大樹町・串本町・大分航空基地)での民間の実験を待たない。我々は内子浦の射場で多く打ち上げてもらえる様に陳情に直接、何度も行く事に力を入れるべきであり、それ以外に出る事があるとは思わない。
添付資料	

復 命 書

令和 8 年 1 月 23 日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	木 村 賢 馬
研修会名等	鹿児島県庁行政視察
期 間	令和 8 年 1 月 21 日 (水)
内 容	(県道路維持課) ①県管理道路の維持管理に内訳現状 ②草刈・伐採の概要について ③効率的な維持管理について ④橋梁・トンネル、道路各付属物等の現状 ⑤道路舗装の現状 ⑥国道448号、并良高峠線における草刈実施状況 ⑦肝付町管内における道路維持修(路面補修・高枝伐採・排水工事の (産業立地課、新産業創出室) 実施状況
所 感	①県道路維持課の研修では個人的には毎年県道52号線の改善促進の要望活動をしているので、振興局全地域への予算配分等苦学されている現状等伺えた。県管理道路における苦情件数(6,000件)全体的には老朽化が進んでいる実態も理解出来た。 ②新産業創出室の研修では、室長の説明より質問で多数出るが、印象的なことは三つあって、まず町交際の時に内浦宇宙空間観測所の今後については、私が国の国策の関係で町内参入が現状では進みにくいので、今後は老朽化があるので大知及町企業も参入した施設建設を取り組むという意見のアドバイスを受け、まさにこの通りだと感じた研修であったことを報告します。
添付資料	